

企業・団体 ライフスタイルアクセント

学生アイデア 崇城大生物生命学部Ciamo



九州未来アワードの大賞を受賞したライフスタイルアクセントの山田敏夫社長（左）と崇城大生物生命学部Ciamoの古賀碧さん＝8日、熊本市

九州経済をけん引する独創的な取り組みをたたえる「九州未来アワード」の最終選考会が8日、熊本市中央区のホテル日航熊本であった。企業・団体部門は「ライフスタイルアクセント」（熊本市）が、学生起業アイデア部門は「崇城大生物生命学部Ciamo」（シ

アモ）がそれぞれ大賞に輝いた。熊日など九州の7紙でつくる実行委員会の主催で3回目。旭化成、中小機構九州、明治、ライオン協賛。応募は企業・団体部門が26件、学生起業アイデア部門は5大学の18件。最終選考に残ったのは両部門合わせ10件で、経営者や学生らが観客約250人に取り組みを説明した。

学生起業アイデア部門大賞の崇城大生物生命学部Ciamoは、養殖エビの免疫向上などに用いる光合成細菌を、産業廃棄物の焼酎かすから培養するキットを開発して販売する計画を提案。発表者の古賀碧さん（22）は「事業化に向けて大きな一歩になる」とほほ笑んだ。

このほか企業・団体部門で、ボトルフラワーを生産する宮川洋蘭（宇城市）を準大賞に選んだ。審査員特別奨励賞は農未来（大分県国東市）、女性地域貢献賞はKIGURUM I. BIZ（宮崎市）が受賞した。

（猿渡将樹）